

プロジェクトの取組について

1 趣旨

地域福祉推進のための課題や問題点を洗い出し、テーマを決定して、課題解決に向けた試行的な取組を実施する。

2 プロジェクトのイメージ

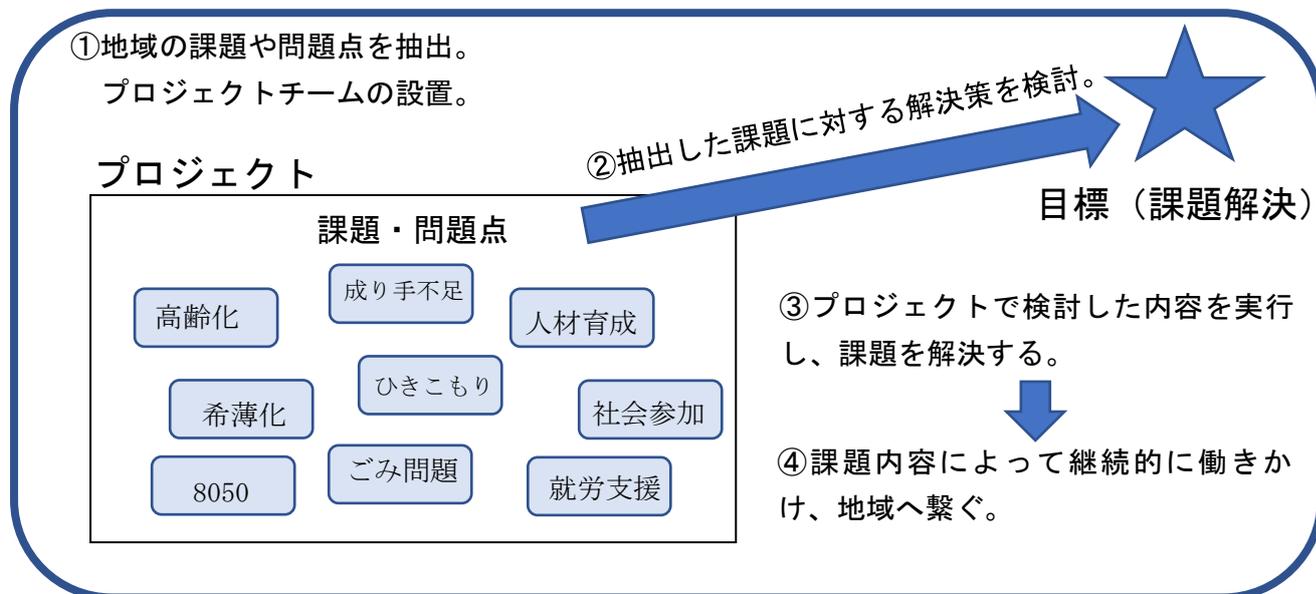


図1 プロジェクトの進め方

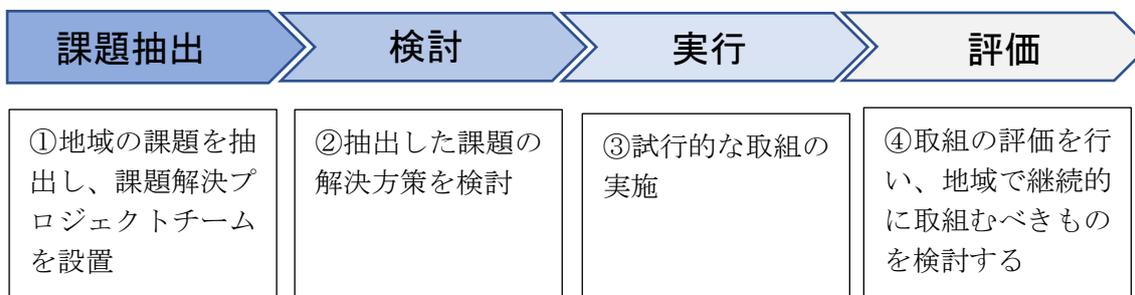


図2 課題解決に向けたプロセス

3 プロジェクトの地域福祉計画への活かし方・位置づけ

行政と社協が共同で地域の課題を把握し、テーマごとに関連のある団体及び個人と連携し、課題解決を目指す。

試行的に実行したプロジェクトの取組みの中から、今後、継続的な取組みが必要なものや成果が期待できる取組を事業化したり計画に掲載することで施策として反映する。

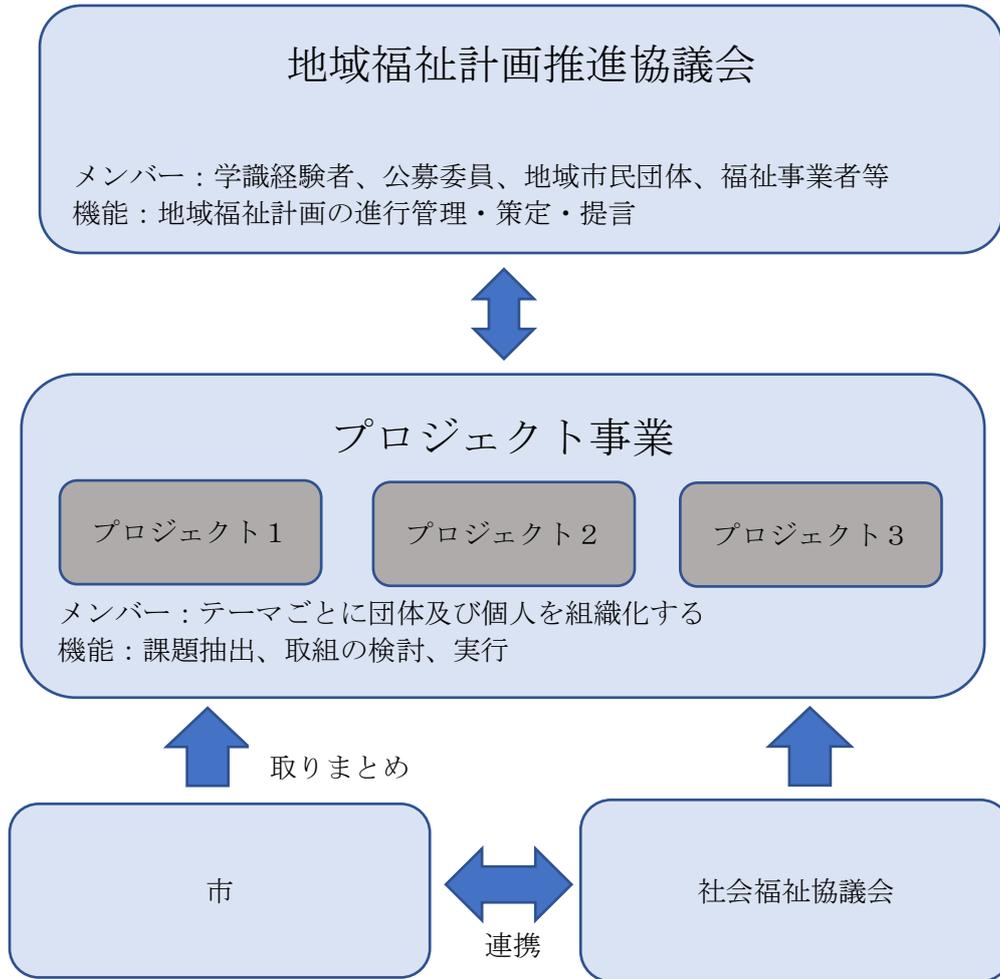


図3 計画との位置づけ

4 現状の課題から考えるプロジェクト案

(1) (地域共生) みんなの居場所

引きこもりや不登校の課題を抱えている世帯を始め、生きづらさを抱えている人が気軽に通うことができる、居場所を創る。

(2) ごみリセット+

地域住民や民間事業者等と連携して、自宅の物を整理する。また近隣住民が対象者に適切にごみを捨てられるように働きかけたり、企業等がごみ捨て講座等を実施する。

(3) 中間的就労支援・プチバイト

世代を問わず誰もが容易にできる短期的な就労体験の場を提供し、就労機会を充実させ、働く準備を支援する。

(4) 婚活支援 (ボランティア de 婚活)

コロナ禍において外出の機会が減り、並行して出会いの機会も減少している。地域福祉とは繋がり薄い若年層にも福祉イベントのボランティア参加をきっかけとして婚活の支援を行う場を創る。

(5) ファシリテーターの育成

ファシリテーションは話し合いの場で、円滑な進行をする上で重要なスキルであり、行政職員を始め地域の担い手である、支援関係機関・民生委員・町内会長等へファシリテーションの講座を行い、ファシリテーターの育成を目指す。